【番組審議会】

ラジオ・ミューでは、放送番組の向上改善と適正化のため、自社制作の放送番組を審議する放送番組審議会を設置しています。

------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ラジオ・ミュー

第150回～152回番組審議会（合同開催）

1. 開催日時

　 令和6年3月26日（火）午前10時～11時30分

２．開催場所

 黒部市国際文化センター コラーレ　　創作室

３．委員の出席

　 出席委員数　7　名

　　　(武藤 憲夫 委員長、長沼 潔　副委員長、金山 宏明 委員、森田 慶次 委員、

竹 洋平 委員、瓜生 みゆき 委員、太田 泉 委員)

　 放送事業者側出席者名　 長谷川 光一 代表取締役、齋藤 規 放送局長、

制作：朝野 真由子、浄土 拓海、山下 幸子、書記：坪田 智香子

４．議事内容

①「 ボランティアネットワーク 」　令和6年2月16日（金）放送分

【番組内容】

新川地区でボランティアをされている皆さんの活動紹介や情報をお届けする。

1/1の能登半島地震より、新川地区でも多くの募金活動やボランティア活動が行われている。今回は、2/3㈯に朝日町　ショッピングセンターアスカ前で「令和6年能登半島地震災害義援金　街頭募金活動」をされた、「朝日町赤十字奉仕団」委員長の井口一美さんの声をご紹介した。

【委員の意見】

・地元でこういった活動をしている団体があることが知れて理解も深まった。

・震災の日の話もあったが、井口さんの声が明るく聞きやすかった。

・これからボランティア（赤十字奉仕団）に参加しようという人向けの話もあればよかった。

②「 北方領土返還要求運動特別番組 「 あの日、あのとき 」 」　令和6年2月11日（日）放送分

【番組内容】

　毎年、2月と8月は北方領土返還運動全国強調月間。この番組は、千島歯舞諸島居住者連盟富山支部が「ラジオを使って伝えられることがないだろうか」との思いから制作・放送している。第3回となる今回は、北方領土からの引揚者たちが、当時をどう生きたか、そして、今、改めて感じる想いを伺った。

【委員の意見】

・実際の引揚者からの本当の話を聞けて良かった。知れて良かった。

・1回・2回と色が違っていて聞きやすかった。これからも続けてほしい。

・地域を考える重要な番組だと思う。

・別の団体の北方領土関連のイベントなどと連携して放送してみたらいいのでは。

③「 わくわくＦＲＩＤＡＹ 内 黒部市体験型ふるさと納税「ラジオ番組出演体験～ふるさと黒部とラジオでつながろう」」　令和6年1月19日（金）放送分

【番組内容】

令和4年度11月に体験型の黒部市ふるさと納税返礼品として登録した「ラジオ番組出演体験」。

寄付額４万円で、１０分間の番組で宣伝や知人へのメッセージを話すことができるというもので、返礼品として実施するのは富山県内でも初のケースとなった。ご出演されたのは、東京で会社を経営されている中村俊毅さん。中村さんは元々ラジオが好きで興味があり、故郷の富山に還元したいとの思いもあっての体験となった。

【委員の意見】

・面白い企画、短い時間を有効活用してほしい。

・時間を増やしてリクエスト曲をつけてあげてもいいのでは？

・同じ質問が繰り返された。全体的な話で終わった感じがした。

5．組機関の答申または改善に対してとった措置

・ゲストに合わせた構成ができるよう、柔軟な番組作りを検討する。

・地元ラジオだからこそできることを考えていく。　等

6．審議機関の答申又は意見概要の公表

・ラジオ・ミューの HP 上でも審議会内容を公開。

・令和6年3月29日（金）18：15～自社番組「新川BANZAI」の中で審議内容を紹介した。